

明るい選挙 啓発ポスターコンクール

令和3年度 全国優秀作品集



公益財団法人 明るい選挙推進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



ごあいさつ

公益財団法人明るい選挙推進協会会長 佐々木 毅



公益財団法人明るい選挙推進協会は、都道府県選挙管理委員会連合会との共催で、全国の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒を対象に、令和3年度明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しました。御協力いただきました全国の選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会及び教育委員会・学校の皆様に御礼申し上げますとともに、応募して下さった児童生徒の皆さんに感謝申し上げます。

このコンクールは、明るい選挙を実現するためのポスターを描くことで、将来の有権者である児童生徒の皆さんに選挙、政治への関心を持ってもらうきっかけとなることを目的としています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、応募学校数、応募者とも大きく減少しましたが、本年度は応募学校数が8,099校、応募者数は113,233人と、一昨年度の約8割の水準まで回復しました。

審査は、市区町村における第1次審査、都道府県における第2次審査、当協会における中央審査を経て、文部科学大臣・総務大臣賞（連名）18作品、公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（連名）60作品を決定しました。都道府県、市区町村においても、それぞれ賞を設け、表彰式や展示会が行われました。

この作品集は、次回以降の作品募集に資するため、大臣賞・会長賞を一冊にまとめたものです。主権者教育の一環としても御活用いただければ幸いです。

目次

ごあいさつ	2
目次	3
明るい選挙	4
令和3年度明るい選挙啓発ポスターコンクール審査評	6
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 平田朝一	
令和3年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集要項	9
令和3年度明るい選挙啓発ポスターコンクール応募状況	10
全国優秀作品	
文部科学大臣・総務大臣賞	11
明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞	30

明るい選挙

● 明るい選挙 ●

民主政治は、国民の意思によって政治の在り方が決まる政治です。代表民主主義国家においては、選挙によって選ばれた代表によって政治が行われますが、主権は国民にあります。選挙は国民が政治に参加する最大の機会であり、民主主義の根幹をなすものです。

国や地方の政治が私たちの意見や要望を踏まえて適正に行われるためには、選挙が公正に行われ、代表として相応しい立派な人が選ばれなければなりません。そのためには、国民一人ひとりが選挙制度を正しく理解し、政治や選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策を正確に見る眼を備え、進んで投じることが必要です。買収や供応などの不正に惑わされたり、義理人情で投票してはならないことは言うまでもありません。

「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

● 明るい選挙推進運動 ●

選挙を明るく正しいものにしようとする運動は古くから行われ、大正時代末に行われた後藤新平の「政治の倫理化運動」、青年団の父と呼ばれた田澤義鋪らによる「選挙肅正同盟会」などの活動がその起こりです。

男女普通選挙が実現した第2次世界大戦後、昭和26年に行われた統一地方選挙で、選挙違反の検挙者が6万人を超えました。その翌年に予定されていた衆議院選挙に向けての事前運動も激しく行われたので、これではいけないという国民の声が強くなり、新聞社の支援や国会の決議もあって、官民あげての「公明選挙運動」が展開されることになりました。その後名称を「明るい選挙推進運動」と変更し、現在約7万人の方々ボランティアとして参加し、3つの目的を掲げて活動しています。

- ①有権者が、普段から政治と選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこと。
- ②有権者が、こぞって投票に参加すること。
- ③選挙違反のないきれいな選挙が行われること。

運動の発端であった「きれいな選挙」については、選挙違反の数は減ってきておりますが、皆無になったわけではありません。「こぞって投票に参加すること」については、近年投票率の低下が大きく、運動の重点はこちらに移ってきています。「普段から政治と選挙に関心をもってもらう」については、粘り強く活動していかなければと考えています。

● 明るい選挙推進協議会 ●

明るい選挙推進運動は、全国ほとんどの市区町村に設置されている明るい選挙推進協議会によって進められています。団体によりその構成は違いますが、自治会、女性団体、老人会、青年団など各種団体参加者、公民館などの社会教育関係者、地方紙などマスコミ関係者などで構成されています。その他、教員OB、PTA代表者、公募による参加者もいます。

日常的には身近な暮らしの問題をテーマとする話し合い活動や議会傍聴、政治・選挙に関する講演会の開催、市民まつりなどイベントでの呼びかけなどを行っています。選挙時には駅前など街頭に立ち、投票参加や違反のない選挙を呼びかけています。

啓発ポスターについては、ところによっては明るい選挙推進協議会の委員が、作品募集の依頼のために学校を訪問したり、審査員に加わるなどしております。

また、プレ有権者に対する取り組みとして、小学校、中学校、高校の授業時間、生徒会選挙などにおいて、選挙の仕組みを教えたり、実際の投票箱等を使用して模擬選挙を行うなどの出前授業にも取り組んでいるところもあります。

● 明るい選挙推進協会 ●

明るい選挙推進協会は、全国の都道府県・市区町村の「明るい選挙推進協議会」を会員とした公益財団法人です。明るい選挙推進運動の全国組織として、明るい選挙の実現を目標に、全国約6万5千人のボランティアの方々とともに活動しています。

子どもたちの可能性を引き出す ポスターコンクールの意義

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 平田 朝一

はじめに

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、全国各地の学校で感染予防のため教室の環境を考えながら授業を工夫したり、オンライン授業に取り組んだりして、子どもたちの学びを止めまいと、学校現場で最善を尽くされている教職員の皆様方に対し、心から感謝申し上げます。学校では、様々な学校行事が中止や変更になるなど、子どもたちの学校生活に大きく影響が出ています。これまでに経験のない状況下で、今まで以上に教職員が一丸となって子どもたち一人ひとりと向き合い、きめ細かな支援や配慮を続けていただいていることと思います。こういった状況を乗り越えていくために、引き続き、教職員の皆様方の多大なる御理解・御協力を心よりお願いいたします。

このような状況の中で、本コンクールには全国の小学校、中学校、高等学校から、113,233点の作品の応募がありました。今回の審査会では、小学校1年生から高校3年生までの幅広い年齢の児童生徒の作品を見させていただきました。応募作品には、それぞれの年齢での表現のよさがあり、どの作品も児童生徒が「明るい選挙」という共通のテーマを基に例年以上に独創性を発揮した力作ばかりで、審査に当たってはどの年齢の作品を選ぶときも大変苦勞いたしました。このような質の高い作品が多数応募されるこのコンクールが長年にわたって続けられている背景には、主催者を始め関係者の方々の多大なご努力と、選挙啓発というテーマの重要性を理解して、ご指導いただいた保護者や学校の先生方等の多くの方々の支援があったからだと思えます。今回のコンクールに応募した児童生徒は「明るい選挙」というテーマから自分の身の回りや社会に目を向け、自分自身が感じたことや考えたことなどから発想や構想をし、材料や用具を工夫したり試行錯誤したりしながらそれぞれの個性を生かして表現したことと思います。図画工作や美術の学習において描くことを通して身に付けた資質・能力というものは生涯にわたって生きて働く力となるものであり、全ての児童生徒がそれぞれの発達の段階においてこれからの予測が困難な社会を生きる上でも身に付けてほしい資質・能力であります。このような児童生徒の資質・能力の育成とともに、よさや可能性、個性の伸張につながるポスターコンクールが今後も引き続き開催されることを心から願っております。

全ての子どもたちの可能性を引き出すこれからの学び

学習指導要領が小学校では昨年度に全面実施され、中学校では今年度全面実施されました。そして、高等学校では来年度から年次進行で実施されていきます。

子どもたちが将来にかけて、予測が困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸

福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要です。そのため、今回の改訂では、知・徳・体にわたる「生きる力」を子どもたちに育むために「何のために学ぶのか」という各教科等を学ぶ意義を共有しながら、授業の創意工夫や教材の改善を引き出していくことができるようにするため、全ての教科等の目標及び内容を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理しています。将来を生きていく子どもたちにどのような学びを準備していくか、この学習指導要領の改訂の機会に考えていくことが必要です。

今回の学習指導要領において、教科の目標の柱書に、小学校図画工作科では「生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力」が記されています。中学校美術科では「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」、高等学校芸術科では「生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力」と記されています。中学校美術科を例にすると、「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」とは、造形的な視点を豊かにもち、生活や社会の中の形や色彩などの造形の要素に着目し、それらによるコミュニケーションを通して、一人ひとりの生徒が自分との関わりの中で美術や美術文化を捉え、生活や社会と豊かに関わるようにするための資質・能力のことです。このように、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成していくことが大切です。

例えば、ポスターなどは、生活や社会の中で接する機会が多く、授業を通して生活や社会の中の美術とつながっていくことができます。日常生活を振り返ってみると、身の回りにある人工物の多くはデザインや工芸と関わっているものがあり、私たちはデザインされたものや工芸として制作されたものに囲まれて生活しています。人は、それらのものから機能的な恩恵だけでなく、その形や色彩からも大きな影響を受けています。これらのものは、つくった人が、見る人や使う人の立場に立って美しさ、楽しさ、使いやすさなどを考えて表現したものです。

特にポスターを考える際には、伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などからアイデアを練って形や色彩、材料などを生かして、美しく、分かりやすく効果的に表現するにはどうすればよいか考えることが大切です。また、生活や社会の中にあるポスターにも関心をもって見ていくと、形や色彩など、様々な工夫がされていることに気付くでしょう。今回のポスターを作成することで、選挙に関しての理解が広がるとともに、相手に伝えるためにどのようにすればよいかよく考えていくことが大切です。

● 図画工作や美術における表現の活動を通じた学び ●

子どもたちが、これから生きていく社会では、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われています。目の前の事象から解決すべき課題を見出して、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出していくことが重要です。大きな変化がある中で、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められているといえます。

図画工作や美術などにおける表現活動は、単に決まった答えを求めるものではなく、児童生徒が答えの無い問いに向かい、一人ひとりの感性や想像力を働かせて目的を自ら考え出し自分で答えをつくりだす活動です。これを、本コンクールのポスターとして考えていくと、ここでの学びは、単にポスターの描き方や選挙のことを事実としての知識だけを学ぶだけにとどまることなく、「もの」や「ものごと」「自分と他者」との関係性

などの理解を深めることにつながっていきます。今回、「明るい選挙啓発ポスターコンクール」に参加した子どもたちは、単にポスターを描くことに終始するだけでなく、ポスターを描くことを通して、それぞれの発達段階に応じて選挙の意味や自分と社会との関係性について考える機会になったと思います。そして描かれた作品は、コンクールの後、多くの人々が見ることで児童生徒の学びは外の世界に大きく広がっていきます。子どもたちが絵を描くということ、そして描いた絵は単にせまい世界の中だけに止まっているものではなく、人と人をつなげ、学びを社会に開いていく大きな力をもっています。自分と社会や世界との関係性を実感することのできる図画工作や美術の学びは、児童生徒一人ひとりの生き方と大きく関わる学びでもあるのです。

これからの教育を考えていく上で、学習指導要領の総説で示されている「私たち一人ひとり、そして社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われている。目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すこと」の重要性は、児童生徒が描くことを通して発揮や獲得する資質・能力や、ポスターを描くことの意義、今後のコンクールの果たす役割などと大きく関連するのではないかと思います。

● おわりに ●

今回の審査会では、小学校から中学校、高等学校まで多くの優れた作品と出会うことができました。全国の各地方での審査の中で選ばれた作品ですから、どの作品もそれぞれの子どもたちの思いや粘り強く挑戦した姿を想像できるものであり、その時期だからこそ感じたり考えたりする姿を大切にしながら審査しました。発達段階に応じた表現ができているか、明るい選挙の趣旨を伝えることができているかとともに、出来る限り児童生徒が表現に取り組む主体的な姿や、描くことを通して発揮した資質・能力を作品から読み取るように努力しました。地方審査、中央審査の中で多くの審査員の心を捉えた作品です。そこには、その作品にしかない素晴らしいよさがあります。

令和3年度明るい選挙啓発ポスター 作品募集（第73回）要項

①趣旨

私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、立派な政治が行われなければなりません。その政治は選挙によって選ばれた人たちによって行われます。だから選挙は明るく正しく行われなければなりません。そこで、全国の児童、生徒の皆さんに、明るい選挙を呼びかける印象的なポスターをかいていただきたいのです。

②応募規定

(1)内容

明るい選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。

(2)応募資格

小学校児童、中学校・高等学校の生徒

(3)募集期間

令和3年5月10日（月）から令和3年9月10日（金）まで

(4)締切日と提出先

令和3年9月10日（金）までにあなたの住んでいる市区町村または通学している学校のある市区町村の選挙管理委員会に提出してください。※市区町村によって異なることがありますので、詳しくは最寄りの選挙管理委員会にお尋ねください。

(5)画材

描画材料は自由（紙や布など、絵の具材料だけに限りません）

(6)大きさの基準

画用紙の四ツ切（542mm×382mm）、八ツ切（382mm×271mm）もしくはそれに準じる大きさ

(7)応募上のご注意

- ①作品のうら右下に、都道府県名、学校名、学年、氏名（ふりがな）を必ず記入してください。
- ②応募作品は、原則として返却しません。
- ③入賞作品の著作権は主催者に属し、作品は自由に利用させていただきます。
- ④入賞者の学校名、学年及び氏名を公表させていただきます。

③審査

(1)第1次審査

各市区町村選挙管理委員会において、小・中・高別に選びます。

(2)第2次審査（地方審査）

各都道府県選挙管理委員会において、小・中・高別に応募数に応じ、所定の点数を選んだうえ、第3次審査（中央審査）へ提出します。

(3)第3次審査（中央審査）

第2次審査で選ばれた作品について、下記審査員により入賞作品を決定します。

文部科学省・総務省・公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表審査員

④賞

(1)小・中・高別に次の賞を贈ります。

- ①文部科学大臣・総務大臣（連名）の賞状と公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）からの副賞
小学校 各学年1名 中学校 各学年2名 高等学校 各学年2名
- ②公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）の賞状と副賞
小学校・中学校・高等学校 各学年若干名

(2)第3次審査（中央審査）に提出された方全員に、公益財団法人明るい選挙推進協会会長から記念品を贈ります。

⑤発表

11月初旬の予定

主催	公益財団法人明るい選挙推進協会	都道府県選挙管理委員会連合会
	都道府県選挙管理委員会	市区町村選挙管理委員会
後援	文部科学省 総務省	都道府県教育委員会 市区町村教育委員会

公益財団法人明るい選挙推進協会ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>
都道府県選挙管理委員会連合会ホームページ <http://www.todofuken-senkan.jp/>

令和3年度明るい選挙啓発ポスターコンクール (第73回) 応募状況

都道府県	応募学校数				応募者数				中央審査提出数				
	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	
北海道・東北	北海道	46	23	1	70	790	229	1	1,020	7	3	1	11
	青森県	14	21	4	39	257	188	15	460	3	3	2	8
	岩手県	53	32	9	94	707	163	125	995	7	3	9	19
	宮城県	90	58	1	149	257	298	14	569	3	3	2	8
	秋田県	12	18	8	38	86	111	23	220	3	3	3	9
	山形県	80	46	4	130	786	802	21	1,609	7	7	3	17
	福島県	38	45	7	90	158	522	42	722	3	6	5	14
関東甲信越静岡	茨城県	205	123	6	334	1,589	1,697	26	3,312	10	11	3	24
	栃木県	170	83	1	254	1,146	672	2	1,820	9	6	0	15
	群馬県	159	132	5	296	1,721	3,853	170	5,744	11	18	2	31
	埼玉県	340	138	19	497	4,219	1,935	179	6,333	19	12	11	42
	千葉県	242	122	12	376	962	751	30	1,743	8	7	3	18
	東京都	432	290	45	767	6,556	9,641	618	16,815	24	30	23	77
	神奈川県	122	64	13	199	1,147	559	121	1,827	9	6	9	24
	山梨県	96	49	2	147	1,846	1,544	13	3,403	11	10	2	23
	長野県	148	41	5	194	3,422	558	15	3,995	17	6	2	25
	新潟県	31	14	3	48	199	90	8	297	3	3	1	7
静岡県	162	109	26	297	1,391	918	209	2,518	10	8	5	23	
東海・北陸	富山県	48	50	5	103	178	619	55	852	3	6	6	15
	石川県	19	15	5	39	51	107	106	264	3	3	9	15
	福井県	73	35	1	109	551	775	76	1,402	6	7	7	20
	岐阜県	79	61	9	149	580	503	127	1,210	6	6	9	21
	愛知県	703	330	19	1,052	5,228	5,810	685	11,723	21	22	16	59
	三重県	61	42	5	108	502	529	14	1,045	6	6	2	14
近畿	滋賀県	19	17	2	38	29	139	2	170	3	3	1	7
	京都府	58	33	4	95	596	647	53	1,296	6	6	2	14
	大阪府	132	68	16	216	3,631	3,079	773	7,483	17	16	26	59
	兵庫県	254	142	13	409	1,966	4,050	197	6,213	12	18	12	42
	奈良県	32	14	1	47	359	376	2	737	4	4	1	9
	和歌山県	13	19	6	38	214	129	72	415	3	3	7	13
中国	鳥取県	11	11	5	27	19	59	107	185	3	3	9	15
	島根県	12	16	5	33	608	70	8	686	6	3	1	10
	岡山県	28	40	7	75	58	473	49	580	3	5	5	13
	広島県	40	36	9	85	482	484	82	1,048	5	5	5	15
	山口県	65	40	8	113	128	205	38	371	3	3	3	9
四国	徳島県	67	35	4	106	449	714	19	1,182	5	7	2	14
	香川県	87	47	6	140	441	600	135	1,176	5	6	10	21
	愛媛県	117	61	18	196	621	608	112	1,341	6	6	9	21
	高知県	5	11	2	18	112	69	110	291	3	3	4	10
九州	福岡県	197	94	11	302	7,915	7,323	206	15,444	21	21	8	50
	佐賀県	64	39	9	112	348	426	89	863	4	5	7	16
	長崎県	38	38	12	88	115	522	102	739	3	6	9	18
	熊本県	48	8	4	60	103	22	12	137	3	2	1	6
	大分県	36	26	2	64	343	433	33	809	4	5	4	13
	宮崎県	62	29	6	97	211	169	16	396	3	3	1	7
	鹿児島県	52	48	3	103	310	751	16	1,077	4	7	2	13
	沖縄県	13	30	15	58	126	412	158	696	3	5	10	18
合計	4,873	2,843	383	8,099	53,513	54,634	5,086	113,233	338	340	274	952	

※昨年度応募者数 80,639

文部科学大臣・総務大臣賞（18人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	滋賀県	下野 晴基	蒲生郡日野町立必佐小学校
小学2年生	青森県	川端 恋斗	むつ市立第三田名部小学校
小学3年生	東京都	川村 奏菜	中野区立白桜小学校
小学4年生	愛知県	矢筈原 愛華	一宮市立北方小学校
小学5年生	沖縄県	安次嶺 こころ	中頭郡読谷村立古堅南小学校
小学6年生	埼玉県	鈴木 舞桜	川口市立飯塚小学校
中学1年生	福井県	菅 紗彩	福井市灯明寺中学校
	兵庫県	永良 雫	神崎郡市川町立市川中学校
中学2年生	岐阜県	平田 菜々花	各務原市立鶯沼中学校
	兵庫県	志比田 麗	加古川市立氷丘中学校
中学3年生	東京都	西原 あかり	台東区立忍岡中学校
	岡山県	福井 海夏渡	玉野市立宇野中学校
高校1年生	秋田県	舘洞 百音	県立秋田南高等学校
	静岡県	飯場 大和	県立伊東高等学校
高校2年生	静岡県	谷口 瑠音	常葉大学附属橘高等学校
	石川県	達田 真央	県立工業高等学校
高校3年生	山梨県	若林 秋葉	駿台甲府高等学校
	香川県	田尾 菜々美	県立高松工芸高等学校



小学1年生 下野 晴基 滋賀県 蒲生郡日野町立必佐小学校

黄色い投票箱を画面の中心に、その周りに人が描かれています。その手には青い投票用紙らしきものを持っていて、投票箱に集まる人たちは笑顔です。楽しい気持ちで選挙に向かう明るい雰囲気が伝わってくる作品です。



小学2年生 川端 恋斗 青森県 むつ市立第三田名部小学校

たくさんの生き物が、青い投票用紙を持って、赤い投票箱に向かっていているように感じます。様々な生き物が色とりどりに表現され、同じ方向を向いていることで、みんなで一緒に選挙に行こうという作者の気持ちが伝わってきます。



小学3年生 川村 奏菜 東京都 中野区立白桜小学校

真ん中の子どもが高く持ち上げている投票用紙が光っています。周囲には若者からお年寄りまで、様々な年齢の方が描かれており、人々の周りは黄色などの色で塗られ、光っているかのようです。投票が明るい未来につながっていくことが伝わってきます。



小学4年生 矢箆原 愛華 愛知県 一宮市立北方小学校

様々な世代の人たちが笑顔で投票用紙を持って投票しています。投票箱も笑顔で喜んでいるようです。投票によって花咲く未来へと変わっているかのように鮮やかな配色や丁寧な表現が印象的な作品です。



小学5年生 安次嶺 ころろ 沖縄県 中頭郡読谷村立古堅南小学校

手前の3人の持っている投票用紙がピカピカと光っています。投票箱も笑顔で投票用紙をもらっています。画面上部に描かれた人たちの顔も笑顔で、一票が未来の夢につながっていくことが伝わってきます。



小学6年生 鈴木 舞桜 埼玉県 川口市立飯塚小学校

砂時計の上部が投票箱になっていて、入れた投票用紙が様々な色になり、下部の世界に上から降り注ぎ、明るく楽しそうな街ができあがっています。文字も虹色で、投票が明るい未来につながることを伝えてくれます。



中学1年生 菅 紗彩 福井県 福井市灯明寺中学校

作品の中に3つの場面を同時に描いてあって、しっかり考えて投票をすることが日常の幸せにつながっていることを伝えているようです。遠近感や細部までとても丁寧に描かれ、レイアウトも工夫されている作品です。



あなたの一票 地域を変える



中学1年生 永良 雫 兵庫県 神崎郡市川町立市川中学校

中央の太陽の光から飛び出してくる手に明るい街と様々な世代の笑顔の人たち。植物の芽も見えるように、一票を投票することで地域を少しずつよくしていく一歩につながっていくことを伝えています。



中学2年生 平田 菜々花 岐阜県 各務原市立鵜沼中学校

手前から人々が投票用紙を持って遠くに見える街や山などに向かっていく様子が印象的です。大地をまるくしたり、それに合わせて空もグラデーションにしたりするなど視点が工夫されるとともに、とても丁寧に描かれています。



中学2年生 志比田 麗 兵庫県 加古川市立氷丘中学校

中央の大きな建物が投票箱のようになっていて、高校生や様々な人が投票し、画面の下には色彩豊かな街が描かれています。画面の視点やレイアウト、配色が工夫され、一票が未来の街づくりにつながっていることを伝えています。



中学3年生 西原 あかり 東京都 台東区立忍岡中学校

画面の上側では、投票用紙が舞い、刷毛で街が塗られていて、下側にいる人たちが夢見る未来の明るい世界が表されているようです。街の風景の色を変えて表現しており、一票が未来を彩ることにつながる様子が伝わってきます。



中学3年生 福井 海夏渡 岡山県 玉野市立宇野中学校

砂時計のような形の上側に投票用紙を入れ、それが下側に降り注いでいます。下側の手の形の中には花に囲まれた美しい街が見え、周りには美しい海が見えます。一人ひとりの投票が明るい未来につながっていくことを伝えてくれます。



高校1年生 舘洞 百音 秋田県 県立秋田南高等学校

走ってきてハードルを越える瞬間に投票をしているユニークな作品です。背景に放射状に線を入れスピード感もでています。選挙に行くことはハードルが高くなく、みんなで選挙に行こうという呼びかけが伝わってきます。



高校1年生 飯場 大和 静岡県 県立伊東高等学校

画面上部に船の舵が大きく表現されています。下側には日本地図が斜めに表され、背景もグラデーションになるよう丁寧に塗られています。18歳からの投票が日本の未来の舵取りにつながっていくことが伝わってきます。



高校2年生 谷口 瑠音 静岡県 常葉大学附属橘高等学校

画面の上側の黄色い空に改札の切符を入れるような四角い窓があり、空には投票用紙が飛んでいます。電車とホームや建築物もとても丁寧に細部まで描かれています。投票が生活や街づくりにつながっていることが伝わってきます。



高校2年生 達田 真央 石川県 県立工業高等学校

大きく描かれた青色の18、文字の中は青い色で二人の姿を表しています。「次は私達だ」という文字からも、18歳から選挙に行くことを呼びかけていることが伝わります。色のコントラストと18の文字が印象的な作品です。



高校3年生 若林 秋葉 山梨県 駿台甲府高等学校

何人もの手が白い用紙を持ち、「Let's go 選挙」の文字が読めます。半分に折られた投票用紙が、画面の下の方にたまっていて、画面全体が黒色の投票箱だと気付きます。少ない色数のみで印象深い工夫された作品です。



高校3年生 田尾 菜々美 香川県 県立高松工芸高等学校

18歳の8の文字から高校生が顔を出し、投票をしている姿が楽しく描かれています。文字も微妙に傾け、色も全て違うように配色するなど工夫されています。18歳からの選挙をシンプルに楽しく伝えています。

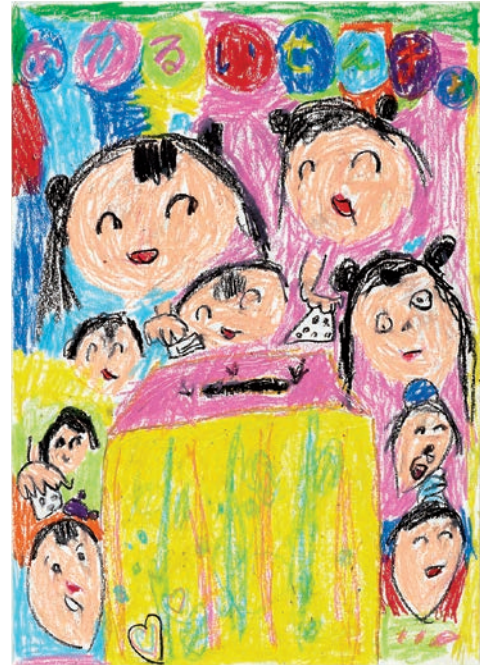
公益財団法人明るい選挙推進協会会長・ 都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（60人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	埼玉県	尋々岡 大智	戸田市立新曾小学校
	福岡県	田井中 花	築上郡上毛町立友枝小学校
小学2年生	山形県	佐々木 洋賀	山形市立出羽小学校
	東京都	石川 杏奈	荒川区立峡田小学校
小学3年生	静岡県	渡辺 陽向	浜松市立可美小学校
	愛知県	岡田 琉生	半田市立花園小学校
小学4年生	千葉県	石井 心絆	香取市立佐原小学校
	広島県	中束 湊介	山県郡北広島町立芸北小学校
小学5年生	福島県	青田 美沙葵	相馬市立中村第一小学校
	群馬県	近藤 初音	藤岡市立藤岡第一小学校
	東京都	櫻井 美姫	江東区立第二亀戸小学校
	大阪府	松本 結有	大東市立住道北小学校
小学6年生	北海道	亀田 芽愛	函館市立深堀小学校
	福島県	矢部 くるみ	桜の聖母学院小学校
	東京都	藤巻 陽	小金井市立小金井第二小学校
	長野県	酒井 奏	小諸市立美南ガ丘小学校
	新潟県	小島 直大	燕市立粟生津小学校
	静岡県	宮崎 綾子	浜松市立可美小学校
	福井県	柏山 理奈	坂井市立兵庫小学校
	大阪府	仲村 謙次郎	池田市立池田小学校
	兵庫県	一島 百合名	尼崎市立武庫東小学校
福岡県	志岐 璃音杏	古賀市立小野小学校	
中学1年生	千葉県	溝部 優花	茂原市立東中学校
	石川県	山元 浩花	珠洲市立緑丘中学校
	愛知県	丸田 百音	稲沢市立治郎丸中学校
	兵庫県	田中 紗英	加古川市立神吉中学校
	香川県	町田 すみれ	丸亀市立綾歌中学校

学年	都道府県	氏名	学校名
中学2年生	群馬県	小板橋 夏実	高崎市立箕郷中学校
	東京都	大澤 直生	練馬区立石神井中学校
	富山県	田島 希美	富山市立堀川中学校
	愛知県	津田 真琴	名古屋市立有松中学校
	大阪府	亭島 美里	大阪市立北稜中学校
	兵庫県	田尻 舞子	加古川市立氷丘中学校
	福岡県	綿田 佳琳	糟屋郡粕屋町立粕屋中学校
中学3年生	福島県	松下 祐依	いわき市立平第一中学校
	栃木県	古田土 明香里	芳賀郡茂木町立茂木中学校
	栃木県	寺澤 萌々香	さくら市立氏家中学校
	群馬県	高橋 里帆	群馬大学共同教育学部附属中学校
	群馬県	三田村 咲来	高崎市立並榎中学校
	富山県	東 朝陽	富山市立速星中学校
	愛知県	高原 彩愛	名古屋市立神沢中学校
	兵庫県	森川 結菜	宝塚市立宝梅中学校
	愛媛県	加藤 瑠那	西条市立西条南中学校
高校1年生	東京都	浅賀 水月	都立工芸高等学校
	岡山県	栗原 恋歌	清心女子高等学校
	香川県	上佐 麻結	県立三木高等学校
	福岡県	佐藤 彩里	県立太宰府高等学校
	佐賀県	酒井 ここね	県立有田工業高等学校
	長崎県	中山 玲香	長崎大学教育学部附属特別支援学校
高校2年生	宮城県	安田 香里奈	宮城野高等学校
	福島県	平 瑠梨	会津若松ザベリ才学園高等学校
	石川県	北島 碧	県立工業高等学校
	大阪府	中野 慧	大阪市立工芸高等学校
	大阪府	寺田 凜音	大阪市立工芸高等学校
	愛媛県	宮内 優歌	県立松山南高等学校砥部分校
	長崎県	松本 麗	県立佐世保西高等学校
高校3年生	東京都	黒崎 リオ	都立世田谷総合高等学校
	岐阜県	井澤 恵梨	県立多治見工業高等学校
	愛媛県	中野 日詩	県立松山南高等学校砥部分校
	愛媛県	木下 和奏	県立松山南高等学校砥部分校



小学1年生 多々岡 大智
埼玉県 戸田市立新曽小学校



小学1年生 田井中 花
福岡県 築上郡上毛町立友枝小学校



小学2年生 佐々木 洋賀
山形県 山形市立出羽小学校



小学2年生 石川 杏奈
東京都 荒川区立峡田小学校



小学3年生 渡辺 陽向
静岡県 浜松市立可美小学校



小学3年生 岡田 琉生
愛知県 半田市立花園小学校



小学4年生 石井 心絆
千葉県 香取市立佐原小学校



小学4年生 中束 湊介
広島県 山県郡北広島町立芸北小学校



小学5年生 青田 美沙葵
福島県 相馬市立中村第一小学校



小学5年生 近藤 初音
群馬県 藤岡市立藤岡第一小学校



小学5年生 櫻井 美姫
東京都 江東区立第二亀戸小学校



小学5年生 松本 結有
大阪府 大東市立住道北小学校



小学6年生 亀田 芽愛
北海道 函館市立深堀小学校



小学6年生 矢部 くるみ
福島県 桜の聖母学院小学校



小学6年生 藤巻 陽
東京都 小金井市立小金井第二小学校



小学6年生 酒井 奏
長野県 小諸市立美南ガ丘小学校



小学6年生 小島 直大
新潟県 燕市立粟生津小学校



小学6年生 宮崎 綾子
静岡県 浜松市立可美小学校



小学6年生 柏山 理奈
福井県 坂井市立兵庫小学校



小学6年生 仲村 謙次郎
大阪府 池田市立池田小学校



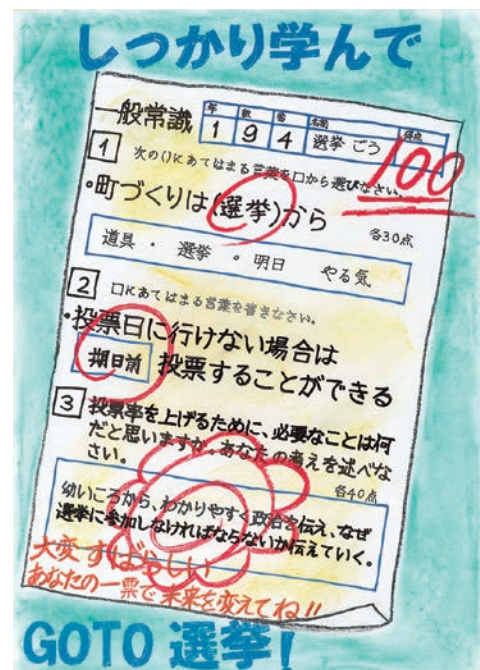
小学6年生 一島 百合名
兵庫県 尼崎市立武庫東小学校



小学6年生 志岐 璃音杏
福岡県 古賀市立小野小学校



中学1年生 溝部 優花
千葉県 茂原市立東中学校



中学1年生 山元 浩花
石川県 珠洲市立緑丘中学校



中学1年生 丸田 百音
愛知県 稲沢市立治郎丸中学校



中学1年生 田中 紗英
兵庫県 加古川市立神吉中学校



中学1年生 町田 すみれ
香川県 丸亀市立綾歌中学校



中学2年生 小板橋 夏実
群馬県 高崎市立箕郷中学校



中学2年生 大澤 直生
東京都 練馬区立石神井中学校



中学2年生 田島 希美
富山県 富山市立堀川中学校



中学2年生 津田 真琴
愛知県 名古屋市立有松中学校



中学2年生 亭島 美里
大阪府 大阪市立北稜中学校



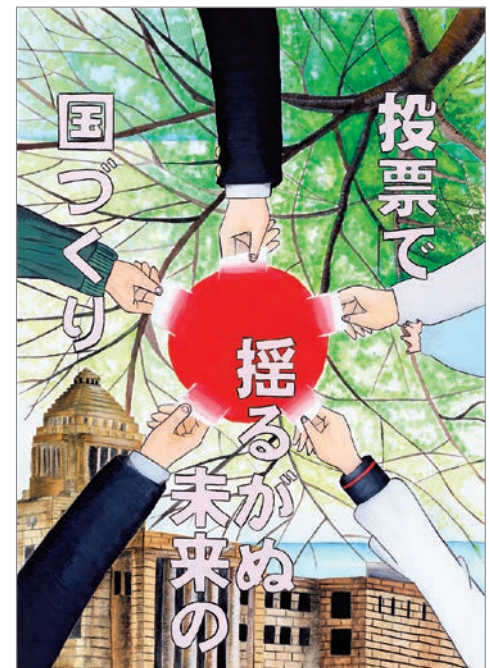
中学2年生 田尻 舞子
兵庫県 加古川市立氷丘中学校



中学2年生 綿田 佳琳
福岡県 糟屋郡粕屋町立粕屋中学校



中学3年生 松下 祐依
福島県 いわき市立平第一中学校



中学3年生 古田土 明香里
栃木県 芳賀郡茂木町立茂木中学校



中学3年生 寺澤 萌々香
栃木県 さくら市立氏家中学校



中学3年生 高橋 里帆
群馬県 群馬大学共同教育学部附属中学校



中学3年生 三田村 咲来
群馬県 高崎市立並榎中学校



中学3年生 東 朝陽
富山県 富山市立速星中学校



中学3年生 高原 彩愛
愛知県 名古屋市立神沢中学校



中学3年生 森川 結菜
兵庫県 宝塚市立宝梅中学校



中学3年生 加藤 瑠那
愛媛県 西条市立西条南中学校



高校1年生 浅賀 水月
東京都 都立工芸高等学校



高校1年生 栗原 恋歌
岡山県 清心女子高等学校



高校1年生 上佐 麻結
香川県 県立三木高等学校



高校1年生 佐藤 彩里
福岡県 県立太宰府高等学校



高校1年生 酒井 ここね
佐賀県 県立有田工業高等学校



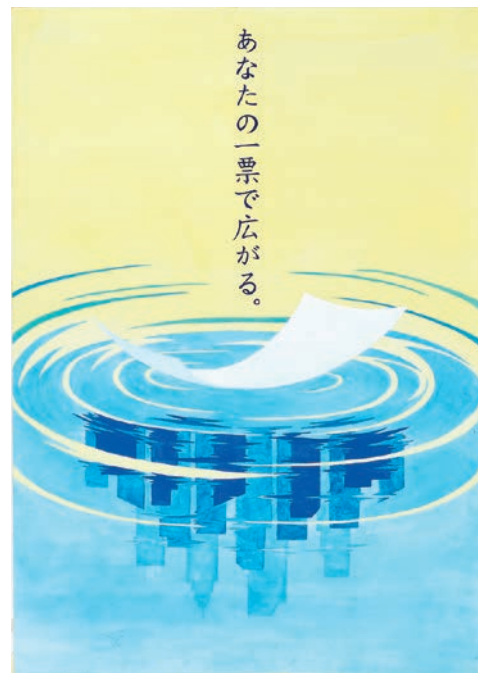
高校1年生 中山 玲香
長崎県 長崎大学教育学部附属特別支援学校



高校2年生 安田 香里奈
宮城県 宮城野高等学校



高校2年生 平 瑠梨
福島県 会津若松ザベリオ学園高等学校



高校2年生 北島 碧
石川県 県立工業高等学校



高校2年生 中野 慧
大阪府 大阪市立工芸高等学校



高校2年生 寺田 凜音
大阪府 大阪市立工芸高等学校



高校2年生 宮内 優歌
愛媛県 県立松山南高等学校砥部分校



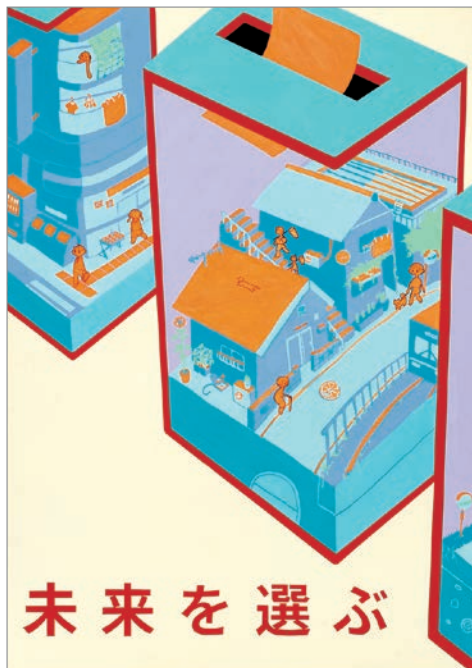
高校2年生 松本 麗
長崎県 県立佐世保西高等学校



高校3年生 黒崎 リオ
東京都 都立世田谷総合高等学校



高校3年生 井澤 恵梨
岐阜県 県立多治見工業高等学校



高校3年生 中野 日詩
愛媛県 県立松山南高等学校砥部分校



高校3年生 木下 和奏
愛媛県 県立松山南高等学校砥部分校

このキャラクターは？



名前は「選挙のめいすいくん」。

明るい選挙推進運動のイメージキャラクターとして2000年4月に誕生しました。

「明るい」の「明」と、「推進」の「推」を引用して名前が付けられました。

投票を呼びかけるイベントや街頭啓発などで活躍しています。

「選挙のめいすいくん」をよく見てみると…

実は「選挙のめいすいくん」は投票箱をモチーフにしたキャラクター。頭にあるトラのしま柄のような2本の縦線は投票用紙の挿入口なのです。また投票箱の鍵をモチーフにした尻尾や、明るい選挙の実現に向かっていくための翼もついています。見かけた時はぜひ確かめてください。

明るい選挙啓発ポスターコンクール 令和3年度 全国優秀作品集

発行日 令和4年2月25日

編集・発行 公益財団法人明るい選挙推進協会

住所 東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町7F

電話 03-6380-9891

ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。

さくらのトンネル
みたいだね!



おおきな えほん、
おもしろそうだなあ!



みんないっしょに
レッツゴー!

ゆうぐが
いっぱいあるよ、
いっしょに
あそぼう!

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>